

平成28年度学校リーダー研修(徳島)

協働する学校組織をめざして ～教師のチーム力を高めるカウンセリング～

特別支援教育推進に向けた学校体制づくりの
具体方策について、一緒に考えましょう！

名城大学大学院
大学・学校づくり研究科 曾山和彦

2016.5.25

今、私の思いを
「強め」に言うならば

よりよい学級づくりが すべての教育課題を解決する！

- 「学力の秋田！」(学習指導)
- 「秋田わか杉っ子学びの十ヶ条」(生徒指導)

秋田県教委指導主事・管理主事として在職していたため、
学校現場の状況はよくわかります

- 「気になる子が溶けこむ授業」(特別支援教育)

「クローズアップ現代」にて紹介された山郷小、その実践を継ぐ
員弁東小の両校にかかわり、成果を目の当たりにしています

子どもが笑顔になる学級は、**保護者**もまた笑顔に！²

現代の子ども像と 支援の基本方策

「どうせ」「うざい、死ね！」

- 自分にOKと言えなければ、他者には
尚更OKとは言えない。自分を大切に
できなければ他者は尚更大切にできない
自尊感情(自己評価の感情)を育もう！
- 他者とかかわる技術・コツがなければ
他者を大切にできない
ソーシャルスキルを育もう！

家庭、地域の教育力が
以前に比べ、ぐっと
落ちていきます

気になる子が昔以上に
気になる理由の一つが
ここにありませう

キーワードは**自尊感情**と**ソーシャルスキル**
どちらもかかわりの中でしか育たない
人が人になるには人が必要

学校存在の意義がここにある！³

学級づくり2条件と 理論ベース

よりよい学級を
つくりたい！

- 「居場所」の2条件(國分、河村)
・「ルール」と「ふれあい(リレーション)」
- A. マズローの階層説が「居場所」の理論ベース

だから、まずは「ルール」！⁴

ルールづくりは 「2本のアンテナ」で！

「話を聴く」という
ルールならば

- を見逃さないアンテナによる感知&対応
 - ・対決 メッセージ;
 - ・対決 メッセージ;
 - ・「 の問いかけ;
- を見逃さないアンテナによる感知&対応
 - ・肯定 メッセージ;
 - ・肯定 メッセージ;
 - ・ 提示;

年齢、発達段階、障害特性への留意が必要！⁵

年齢・発達段階 & 障害特性への配慮とは

伝わるように言葉を
かけましょう！

- 私たちがよく使う「褒め言葉 & 注意」はどのような
子どもに効く・効かないのか？
「境」は10歳 or **思春期**
- 子どもは褒めれば育つのか？
「境」以降はなじまない。「落とし穴」もあり！

「大揺れの船(思春期)」から、子どもが海に投げ出された時、
泳いで行く・浮き輪を投げる等、助けられる大人に！

知識・理論・技法 ← お薦め！アイメッセージ & 勇気づけ

自閉症(ASD)の子どもに「ルール」を教える際の配慮とは？⁶

気になる子の理解

～今や知らないでは済まされない！～

特別支援教育
スタートから

- ユニバーサルな保育・教育のために、**発達障害の可能性のある子**の理解は欠かせない

6.3% (2002) % (2012)
*文科省調査

- 「I think」の前には**理論が必要** (国分)

・障害理解 & 支援の基本理論をおさえてはじめて、
個に応じた具体的支援が見えてくる

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (障害者差別解消法 2013.6月成立)

- 差別的取扱いの禁止 (法定義務)
- 合理的配慮不提供の禁止 (国・地方公共団体等は法定義務)

基礎的環境整備のもとに

2016.4月施行

特に、学校生活の様々な場面における「合理的配慮」に関する校内整備が必要。保護者の声に応えるために...

ASDへの支援の「王道」

気になる子の理解は不可欠
そこから見える支援の「王道」

- 視覚情報の活用 フォトグラフィックメモリー
- 一度にひとつ 短期記憶の弱さ
- 予定の伝達 見通しのもちにくさ
- 肯定的表現 苦手の禁止、注意
- 文化に寄り添う

感覚の過敏性
(例) 触覚、聴覚、視覚、嗅覚、味覚等

字義性
(例) 真っ直ぐ家に帰るのよ あそこの角を曲がらないと帰れないよう～

拙著「気になる子への支援のワザ」(教育開発研究所)に事例がたっぷり

ふれあいづくりは「縦と横の糸」を織る

- はじめは「細い糸」(ラポール)を紡ぎ、少しずつ「太い糸」(リレーション)に紡いでいく

・ラポール(ラポール); プラスとプラスの感情交流

・リレーション(ふれあい、ホンネの関係); プラスもマイナスも含めた感情交流

我が師、國分康孝先生定義

教師と子どもの「縦糸」を織るワザ

主に自尊感情へのアプローチ

- 「君、さん」と名前を呼ぶ

高校の体育の先生がある子たちのことは下の名前で呼び、私や他の人は苗字で呼んでいた。その時点で、私はその先生のことを嫌だと思っていた。<教職課程履修 人間学部2年女子学生の声>

- 子どもの「長所」や「好き・得意なこと」等を使い、褒める・勇気づける・認める

大好きだったなあ、「ハングル少年」のA君

関係づくりの第一歩は相手への関心から

子ども同士の「横糸」を織るワザ

主にソーシャルスキルへのアプローチ

- 短時間 & ゲーム感覚で楽しめるグループアプローチを活用する

ふれあいづくりの「花火を打ち上げる」& 「火を灯し続ける」


お薦め演習「アドジャン」

学校生活の様々な場面でスキルの強化 & 般化

配布資料 hito*yume20号

秀逸！愛知県刈谷市立依佐美中学校の実践

「学校一枚岩」による実践を展開するために



依佐美中全教師アンケート結果から見えた**5つの柱**

- 常に「チーム依佐美」を意識づける
- 管理職&ミドルリーダーが自ら「してみせる」
- やると決めたことは全員で徹底する
- 目的達成の手段は「シンプル」にする
- 外部専門家を活用する

大規模校にもかかわらず、「一枚岩」を創り上げた先生方は「教育のプロ」!

13

「居場所」の中で気になる子が授業に溶け込む

目指しましょう!

気になる子が溶け込む授業づくり

授業のユニバーサル化
*「授業のしかけ」(教育開発研究所)参照

- 1指示1動作(山郷小) 2009年 TVにて紹介

学童期は「知識生活時代」、環境さえ整えば、学びが楽しくて仕方ない段階にある。まさに、そうした子どもたちの姿あり

- ユニットとルーティン(員弁東小) 私のなかでのベスト1

A男を支える周りの友だちの力は教師一人の支援をはるかに超える

14

気になる子が溶け込む授業づくりに向けて～体制推進のポイント～

- 管理職と特別支援教育コーディネーターのタッグ
- 個別の指導計画作成(子どもを見る共通の物差し)
両小学校には3点が揃っています
- 定期的な校内委員会の開催

15

臨床心理士と教師の守備範囲

～心理療法とカウンセリングは別のものである(国分)～

16

教師ができるのは「治す」と「育てる」カウンセリング

本日は、悩みを抱えた先生方を「治す」(楽にする)技法の基礎をお伝えします

治すカウンセリングは主に個人を対象、受動的

育てるカウンセリングは主に集団を対象、能動的

基本5技法(受容、繰り返し、明確化、支持、質問)、ジョイニング、例外探し、いいところ探し、リフレーミング、アイ・ユーメッセージ、勇気づけ、等

構成的グループ・エンカウンター、ソーシャルスキル・トレーニング、対人関係ゲーム、等

精神分析理論、自己理論、行動理論、実存主義理論、論理療法理論、ゲシュタルト理論、交流分析理論、特性・因子理論、ブリーフセラピー、親業、アドラー心理学、等

17

本ホールにおける「1対多」ロールプレイ

私が悩みを相談します。どう応えてくださいますか?

18

「治す」カウンセリング 全ての理論、技法を超えた基礎・基本

傾聴 = 耳 + 目 + 心で「聴く」

- 言葉の応答に限らず、身体全体、心も併せて聴けたか(言語及び非言語的コミュニケーションはどうだったか)
- 相手の話を取ってしまわなかったか
- ジョイニング(波長合わせ)ができたか

19

傾聴の意義と基本技法

- クライアント(患者)の言葉を鏡になって返すことにより、クライアント自身の自己対話が始まる
- アメリカの心理実験。カウンセラーの技量、技法に関係なく、クライアントが治るときにはカウンセリング場面で必ず「沈黙」がある

基本5技法
受容、繰り返し、明確化、支持、質問

20

「ジョイニング」も大切

~基本技法を使って相手の価値観等に波長合わせ~

失敗例

そんなに落ち込まないで、ポジティブに考えましょう!



いつも失敗ばかりだから

そう思えたら相談に来てないわよ

相談するのやめよう

21

保護者の声から見出す「協働体制」づくりのヒント

- 先生は、私の話を否定することなく、いつも真剣に聴いてくださった。それが何よりもうれしかった (ASD児の母) **傾聴**
- 構えずに話を聴いてほしい。一緒に考えましょうと言ってほしい。そうすれば先生方を信頼できる (ASD生徒の母) **エンプティスクリーン**

逆転移に注意!

22

精神分析理論の感情転移

- 感情転移;父、母、兄弟等に対する感情を類似の人に向けること。例;父親を憎んでいる人が、その感情をカウンセラーに向ける
- 対抗感情転移(逆転移);感情転移に巻き込まれること。クライアントが、愛や怒りの感情をぶつけてきたとき、愛してしまう、怒ってしまうこと

カウンセラーは「白いスクリーン(empty screen)であれ」。感情転移に巻き込まれないように

23

協働を壊すカウンセリング

~相手の「元気」を奪う助言~

校長先生、私はどうしたらいいでしょうか?

助言1:「とにかく前向きに考えましょう」

助言2:「 してみてください」で悩み解決

助言3:「 してみてください」で悩み未解決

24

協働を生むカウンセリング

～相手の「元気」を育む支援～

とにかく、話を聴く～基本5技法(受容、繰り返し、明確化、支持、質問)の活用～

正論を真っ直ぐにぶつけない

時には「漂う」

25

まとめ

学校体制づくりのリーダーとして

- 特別支援教育コーディネーター、ミドルリーダーと「タッグ」を組む！
- 教職員、保護者の話を「聴く」！
- 外部専門家と共に取り組む！



私も、皆さんを
応援する者の一人です！



参考

自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder)

2領域(社会的コミュニケーションの制限、反復性の行動・興味)における軽度(L1)～重度(L3)の能力低下という連続体を示す障害
(DSM- 日本語版 2014年5月発刊)

PDD(広汎性発達障害)

*社会性、コミュニケーション、想像力の弱さ

- ・自閉性障害(*この中で知的な遅れを伴わない者が「高機能自閉症」)
- ・レット障害
- ・小児期崩壊性障害
- ・アスペルガー障害
- ・特定不能PDD(*非定型自閉症と同義)

DSM- では
PDDの診断名



28

主な参考文献

- 「自閉症だった私へ」、ドナ・ウィリアムズ、新潮文庫
- 「アスペルガー症候群と高機能自閉症の理解とサポート」、杉山登志郎、学研
- 「親業」、トマス・ゴードン、サイマル出版
- 「時々、「オニの心」が出る子どもにアプローチ学校がするソーシャルスキル・トレーニング」、曾山和彦、明治図書
- 「気になる子への支援のワザ」、曾山和彦、教育開発研究所
- 「気になる子が消け込む授業のしかけ」、曾山和彦、教育開発研究所
- 「気になる子の保護者への支援術」、曾山和彦、教育開発研究所
- 「子どもに学んだ “王道” ステップン・ツー・スリー」、曾山和彦、文溪堂

特別支援に関する私の考えの全ては
「王道ステップ」にまとめました！



HP;「KAZU・和・POCKET」

27

参考

基礎的環境整備と合理的配慮の項目

- 基礎的環境整備8項目 国、都道府県、市町村

「専門性のある指導体制の確保」、「専門性のある教員、支援員等の人的配置」、「施設・設備の整備」、「交流及び共同学習の推進」等

- 合理的配慮3観点11項目 学校の設置者、学校

1. 教育内容・教育方法; 「学習上または生活上の困難を改善・克服するための配慮」、「心理面・健康面の配慮」等

2. 支援体制; 「専門性のある指導体制の整備」、「災害時等の支援体制の整備」等

3. 施設・設備; 「校内環境のバリアフリー化」等

29

参考



実践事例データ
ベース活用を！



30

参考

「王道」ステップワン・ツー・スリーⅡ

依佐美中実践の全てがここに！

31

参考

「知能」大町 特別支援学級実践事例

合理的配慮を学ぶならこれ！

32